



平成21年 5月 1日

各 位

会 社 名 株式会社 あじかん
 代 表 者 名 代表取締役社長 足利 政春
 (コード番号：2907 東証第二部・大証第二部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 樋口 研治
 経 営 管 理 部 長
 (TEL：082-277-7010)

平成21年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、平成21年3月期の配当予想につきましては、修正はございません。

記

1. 平成21年3月期 通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(1) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	34,400	210	240	120	15 60
今回修正予想(B)	33,746	278	291	86	11 23
増 減 額(B)－(A)	△654	68	51	△34	—
増 減 率(%)	△1.9%	32.4%	21.3%	△28.3%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	33,213	619	494	110	14 36

(2) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	34,400	190	170	70	9 10
今回修正予想(B)	33,740	300	280	90	11 76
増 減 額(B)－(A)	△660	110	110	20	—
増 減 率(%)	△1.9%	57.9%	64.7%	28.6%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	33,210	665	520	118	15 41

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高につきましては、前期比で増収となりましたが、景気の後退や中国品の食品問題による需要低下の影響などにより、当初計画を若干下回る見込みです。利益面では、主要原材料価格の上昇や、原油・穀物価格の高騰による副材料費、補助材料費、燃料費などの上昇、商品仕入代の値上げ

などのコスト増により、前期比大幅な減益を予想しておりましたが、主に製造経費と販売管理費の大幅な抑制、販売価格の一部改定などを実施したことにより、営業利益は、当初予想を若干上回る見込みとなるため業績予想を修正いたします。

また、当期純利益では、退職給付引当金その他の要因により、想定以上に課税所得が増加したことによる法人税等の影響で、最終利益は当初予想を下回る見込みです。

(2) 連結業績予想

連結業績予想の修正は、上記個別業績同様の理由に加え、外貨建て取引先である中国子会社での人民元高の進行による収益の悪化を見込んでおりましたが、当該為替の影響が比較的軽微に留まったことなどから、営業利益・経常利益・当期純利益で当初の予想を上回る見込みであるため業績予想を修正いたします。

以 上